近畿管内における農林水産物・食品の輸出の状況と取組

令和5年3月
農林水産省
近 畿 農 政 局

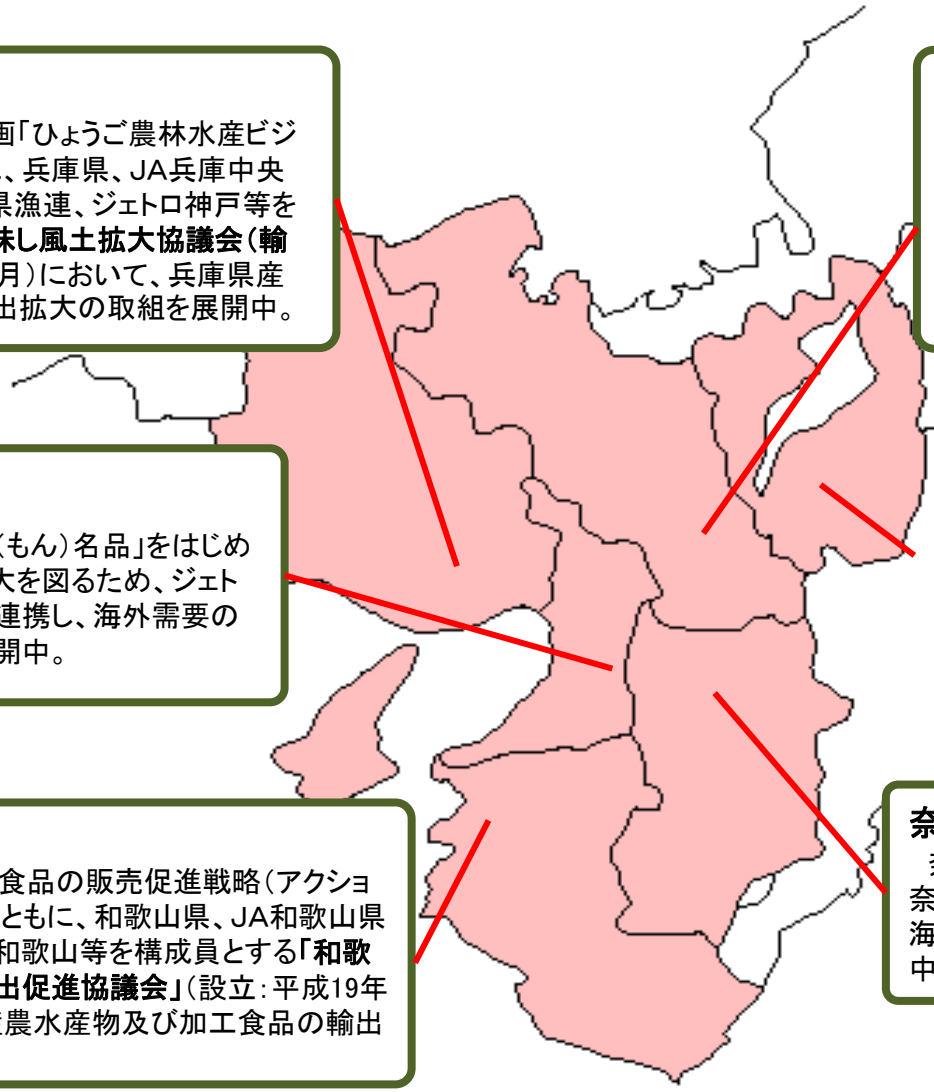
目次

１　近畿各府県の輸出の取組状況 ・・・１
２　近畿の主な輸出品目マップ　・・２
３　近畿管内の港湾からの輸出の状況 ・・・３
４　国別・地域別・品目別の輸出額の内訳（近畿）
（１）　国・地域別の輸出額 ・・・４
（２）－１　品目別の輸出額 ・・５
（２）－２　品目ごとの主な増減・・・６
（３）　港別の輸出額 ・・７
５　近畿農政局における輸出の取組
（１）　ＧＦＰ（農林水産物・食品輸出プロジェクト）【登録状況・輸出診断】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（２）　近畿管内の輸出事業計画の認定状況・・・９

1　近畿各府県の輸出の取組状況

○　近畿管内においても、各府県が農林水産物・食品の輸出拡大に向けた活動を展開中。

○　京都府、兵庫県、和歌山県の3府県においては、輸出を目的とした府県単位の協議会が設立されている。



兵庫県

農山漁村に関する基本計画「ひょうご農林水産ビジョン2030」を策定するとともに、兵庫県、JA兵庫中央会、全農兵庫県本部、兵庫県漁連、ジェトロ神戸等を構成員とする**「ひょうごの美味し風土拡大協議会（輸出部会）」**（設立：平成22年４月）において、兵庫県産農林水産物・加工食品の輸出拡大の取組を展開中。

京都府

農林水産分野の計画「京都府農林水産ビジョン」を策定するとともに、京都府、農林水産業・食品産業関係団体、ジェトロ京都等を構成員とする**「京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会」**（設立：平成22年８月）において、京都府産農林水産物・加工品の輸出拡大の取組を展開中。

大阪府

「大阪産（もん）」、「大阪産（もん）名品」をはじめとした大阪の産品の輸出拡大を図るため、ジェトロ大阪本部や民間団体等と連携し、海外需要の創出と販路拡大の取組を展開中。

滋賀県

意欲ある事業者が効果的に海外展開を進められるようジェトロ滋賀や関係団体と連携するとともに「滋賀県農畜水産物輸出サポートガイド」を活用し、滋賀県産農畜水産物・加工品の輸出拡大の取組を展開中。

和歌山県

「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略（アクションプログラム）」を策定するとともに、和歌山県、JA和歌山県農、和歌山県漁連、ジェトロ和歌山等を構成員とする**「和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会」**（設立：平成19年10月）において、和歌山県産農水産物及び加工食品の輸出拡大の取組を展開中。

奈良県

奈良県産農産物の販路開拓･拡大を図るため、ジェトロ奈良や奈良県農業協同組合等と必要に応じ連携の上、海外でのプロモーション活動やバイヤー招聘などを展開中。

2　近畿の主な輸出品目マップ

兵庫県
＜主な輸出品目＞
米、淡路島たまねぎ、
朝倉山椒、丹波黒大豆加工品、
神戸ビーフ、素麺、日本酒、
牡蠣、　兵庫のり、鶏卵,
加工食品（調味料等）

＜主な輸出先＞
香港、台湾、シンガポール、
マレーシア、EU、米国、UAE

大阪府
＜主な輸出品目＞
泉州水なす、泉州玉ねぎ、
しらす、牛肉、ぶどう（デラウェア）
、ワイン、茶、加工食品（お菓子）、
清涼飲料水

＜主な輸出先＞
香港、マカオ、台湾、タイ、
マレーシア、中国、シンガポール

和歌山県
＜主な輸出品目＞
桃、みかん、柿、うめ、ぶどう山椒、
梅酒、加工食品（調味料等）、水産物

＜主な輸出先＞
香港、台湾、中国、タイ、マレーシア、
シンガポール、ベトナム、EU、米国

京都府
＜主な輸出品目＞
宇治茶、牛肉（Kyoto Beef 雅）、
青果（京野菜、いちご、梨等）、
日本酒、
加工食品（菓子、調味料）、
水産物（さわら、いわし等）

＜主な輸出先＞
香港、台湾、マレーシア、ベトナム、
タイ、シンガポール、、欧州、米国、
中国

滋賀県
＜主な輸出品目＞
近江牛、米、近江の茶、湖魚、
日本酒、加工食品（調味料等）

＜主な輸出先＞
香港、台湾、タイ、シンガポール、
フィリピン、米国、EU

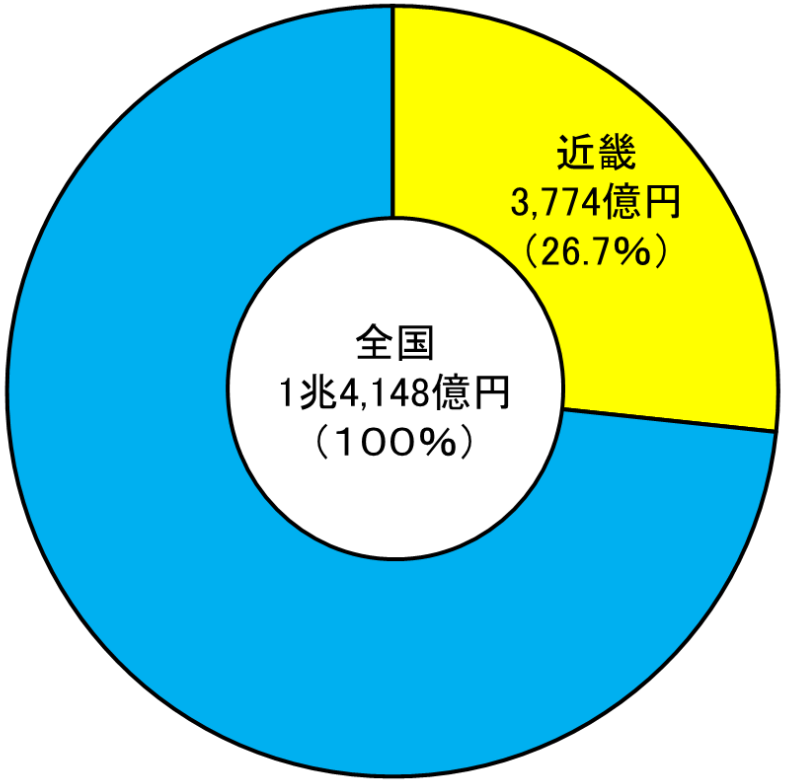
奈良県
＜主な輸出品目＞
柿、茶、いちご、加工食品（素麺、醤油等）、
日本酒、リキュール、切り花

＜主な輸出先＞
香港、台湾、タイ、米国、EU（フランス等）

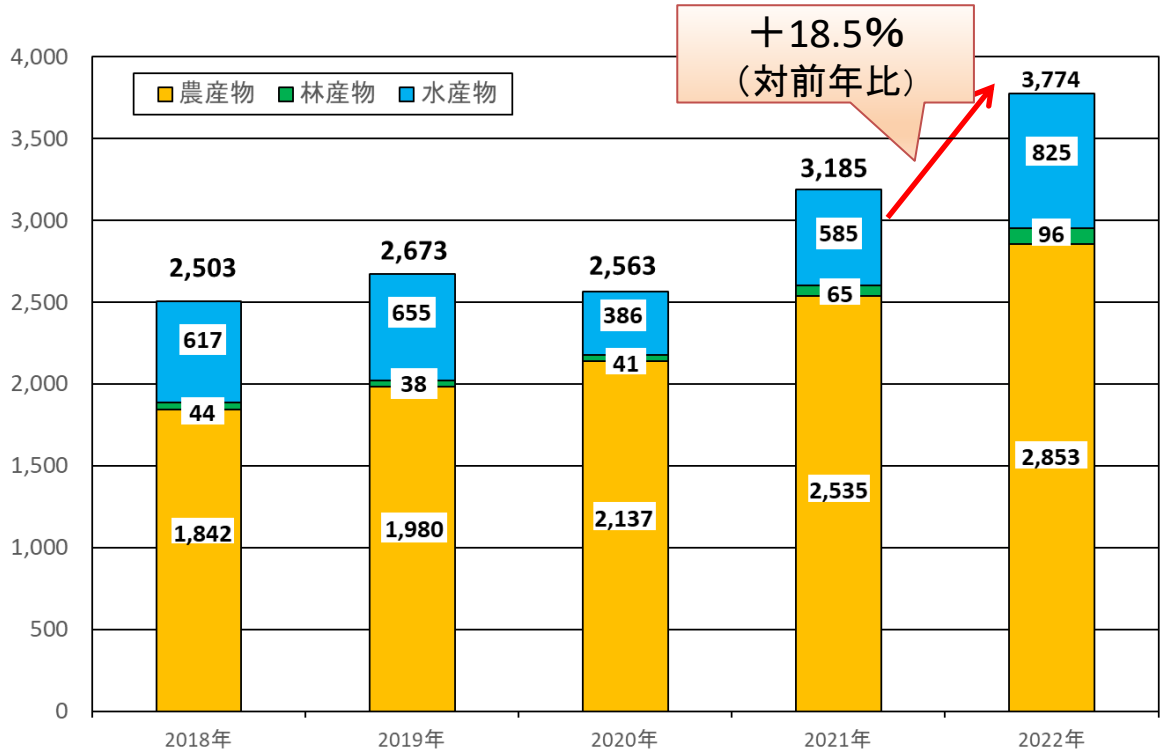
3　近畿管内の港湾からの輸出の状況

○　近畿農政局管内（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県）の港・空港から輸出された農林水産物・食品の輸出額は3,500億円を突破し、前年比18.5%の増加となった。

農林水産物の輸出額（2022年）



近畿農政局管内からの輸出額の推移



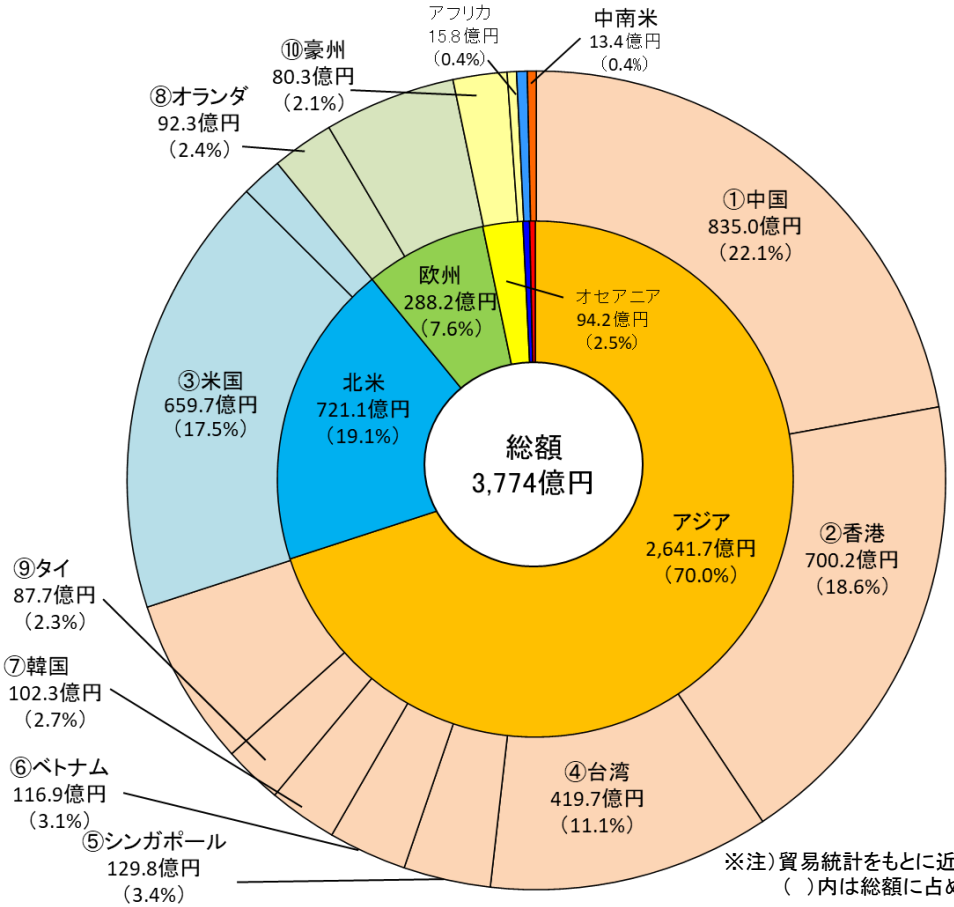
出典：「農林水産物・食品の輸出実績」
※注）近畿農政局管内からの輸出額は貿易統計をもとに近畿農政局で作成

4　国別・地域別・品目別の輸出額の内訳（近畿）
（１）国・地域別の輸出額

○　2022年の地域別の輸出額は、アジアが7割、北米が2割弱を占め、国別の輸出額では、中国が約830億円と最も大きく、香港（約700億円）、米国（約660億円）と続く。

○　全体的に増加傾向にあり、中でも中国は増加額・増加率ともに大きい。また、中国やベトナム、韓国、タイの増加率は30%以上と大きくなっている。

国別・地域別の内訳（2022年）



※注）貿易統計をもとに近畿農政局で作成
（　）内は総額に占める割合

主要な国・地域への輸出額の動向

（単位：億円）

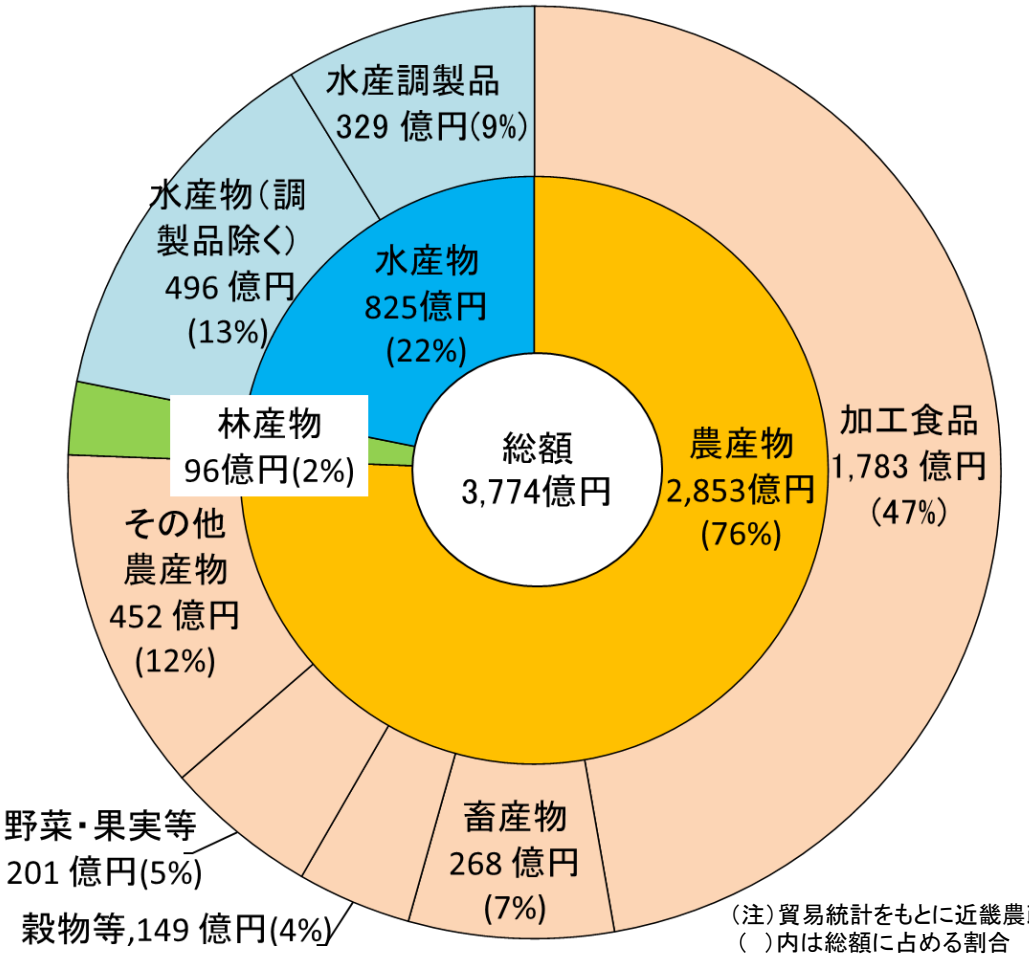
	輸出先国	2022年	2021年	増加率（%）
1	中華人民共和国	835.0	635.3	31.4%
2	香港	700.2	673.2	4.0%
3	アメリカ合衆国	659.7	574.7	14.8%
4	台湾	419.7	359.6	16.7%
5	シンガポール	129.8	104.2	24.6%
6	ベトナム	116.9	89.8	30.1%
7	大韓民国	102.3	77.2	32.4%
8	オランダ	92.3	81.4	13.3%
9	タイ	87.7	63.5	38.2%
10	オーストラリア	80.3	68.5	17.1%

（2） 品目別の輸出額

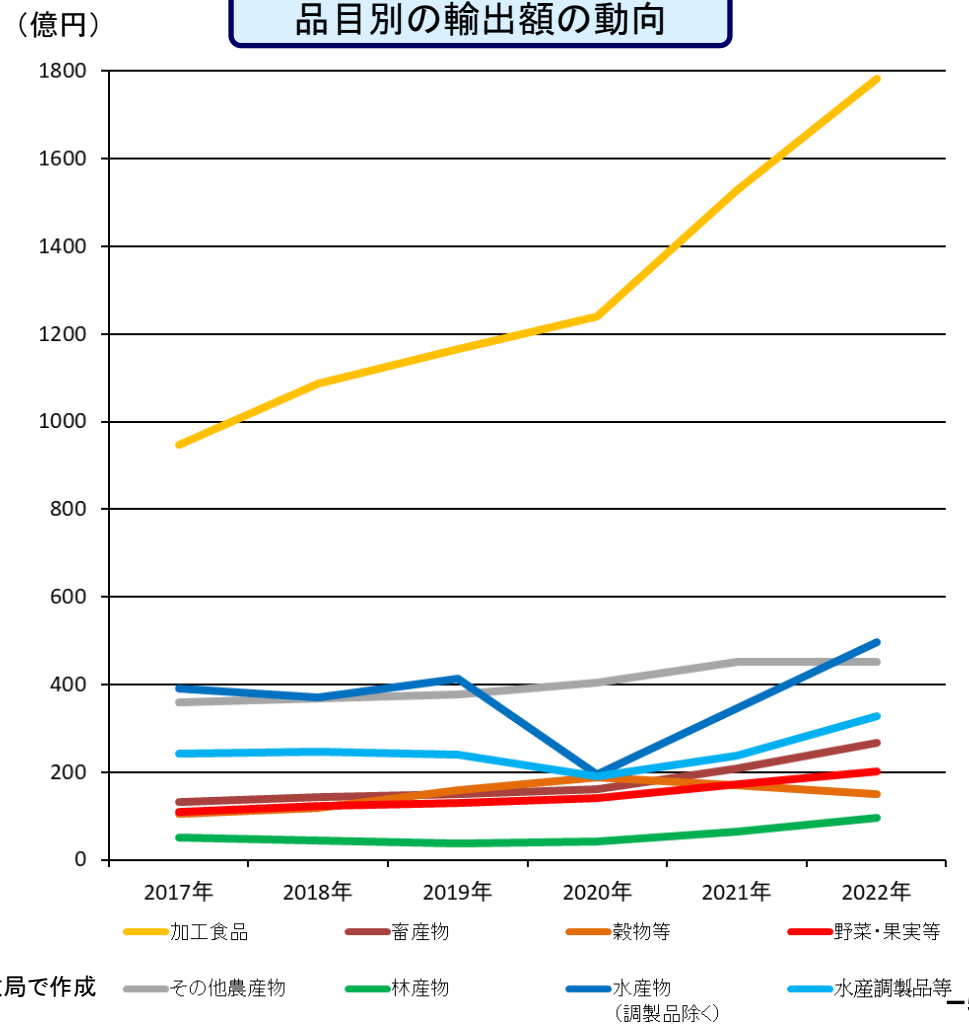
○ 2022年の品目別の輸出額は、農産物が約4分の3を占め、中でも加工食品が5割近くを占め、増加率も非常に大きい。2020年に大きく減少した水産物も大きく増加。

○ 前年と比べ、青果物、畜産物、林産物の輸出額は増加傾向、穀物の輸出額は横ばい。

品目別の内訳（2022年）



品目別の輸出額の動向



（注）貿易統計をもとに近畿農政局で作成
（ ）内は総額に占める割合

（２）－２　品目ごとの主な増減

○農産物のうち、穀物等とその他農産物（その内、花き）を除く品目については昨年より増加しており、特に水産物については40%以上の伸びている。

○水産物のうちホタテ貝、真珠やぶり等が大きく伸びる一方、穀物等のうちコーンフレーク等が昨年に引き続き減少し、精米も減少した。

近畿農政局管内からの品目別輸出額

単位：億円

品　　名	2022年	2021年	2020年	対前年同期比
農林水産物	3,774	3,185	2563	18.5%
農産物	2,853	2,535	2136	12.5%
加工食品（菓子・調味料・アルコール飲料等）	1,783	1,529	1241	16.6%
畜産物（牛肉・豚肉等）	268	209	162	28.3%
穀物等（小麦粉、米等）	149	171	189	▲12.7%
野菜・果実等（ながいも、りんご等）	201	173	139	16.1%
その他農産物（茶、たばこ、播種用の種等）	452	453	405	▲0.4%
花き（植木等、切り花）	7	10	10	▲32.1%
緑茶	56	55	41	2.2%
林産物	96	65	41	47.4%
水産物	825	585	386	41.2%
水産物（調製品除く）	496	346	196	43.4%
水産物（乾燥なまこ等調製品）	329	239	190	37.9%

前年から輸出額が変動した主な品目

単位：億円

品目	2022年	2021年	対前年同期比
ホタテ貝（活、生鮮、冷蔵）	8.2	2.4	244.7%
鶏卵	16.9	6.2	172.0%
天然真珠	1.7	0.6	167.5%
天然・養殖真珠製品	39.3	16.0	145.1%
ポーションパック等の調製品	27.1	11.8	129.7%
ぶり（冷凍）	22.6	10.0	125.9%
うに（活、生鮮、冷蔵）	12.7	7.1	79.4%
液状マーガリン	5.3	3.0	77.2%
食用に適さない動植物性油脂等	30.0	17.1	75.8%
ホタテ貝（調製品）	69.8	40.5	72.6%
くろまぐろ	22.0	13.8	59.8%
乾燥ナマコ	60.6	38.9	55.6%
炒ったコーヒー	28.2	32.1	▲ 12.4%
精米	7.6	11.6	▲ 34.7%
紙巻たばこ	54.0	87.3	▲ 38.2%
金魚（観賞用）	6.3	11.0	▲ 42.7%
コーンフレーク等	8.3	49.1	▲ 83.1%

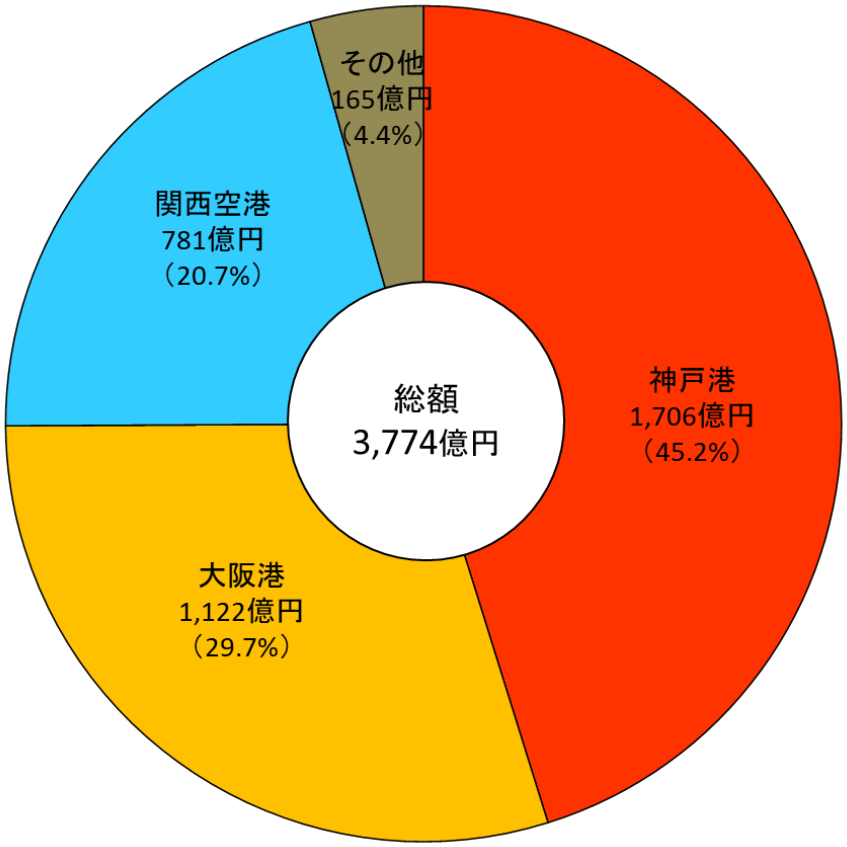
（注）貿易統計をもとに近畿農政局で作成

（３） 港別の輸出額

○ 港別にみると、神戸港、大阪港、関西空港の3港で輸出額の大部分を占めており、中でも首位の神戸港は5割弱を占めている。

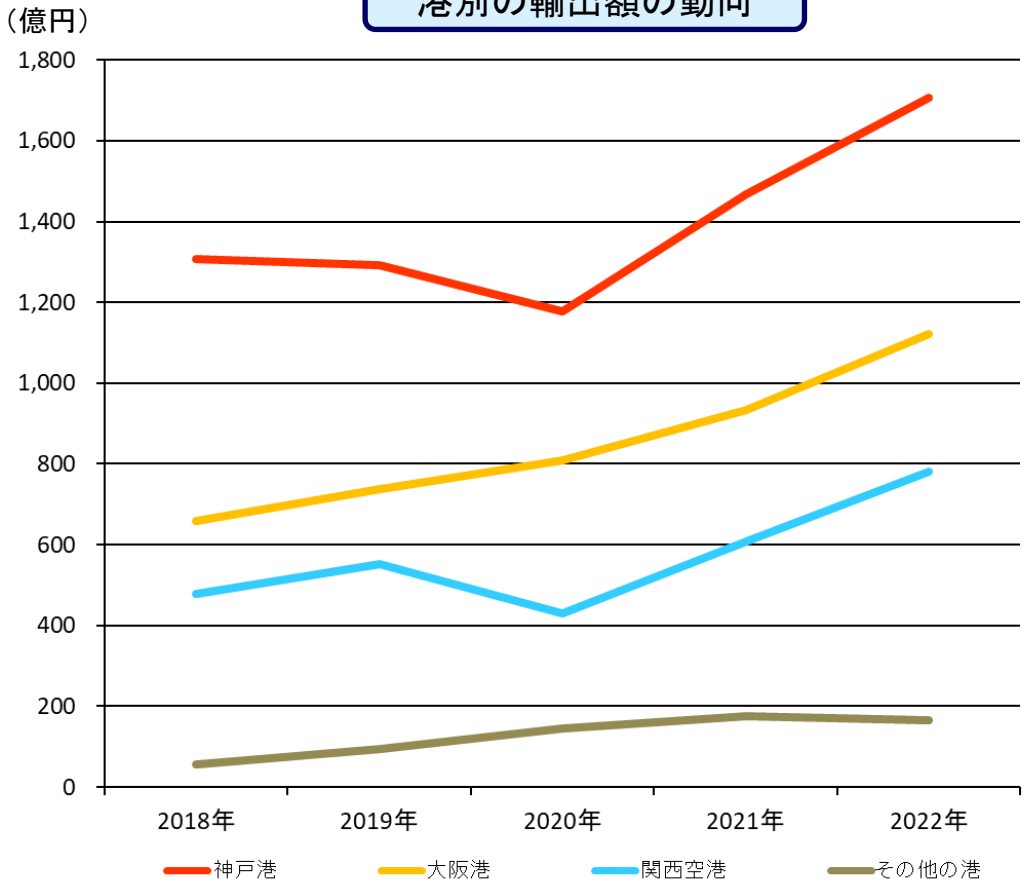
○ 神戸港、大阪港、関西空港からの輸出は前年からいずれも増加。2021年からの増加率でみると、神戸港が約16%、大阪港が約20%、関西空港が約28%となった。

港別の内訳（2022年）



（注）貿易統計をもとに近畿農政局で作成
（　）内は総額に占める割合

港別の輸出額の動向



その他の港で輸出額が多いのは岸和田港（約90億円）、堺港（約42億円）、舞鶴港（約18億円）など（2022年実績）。

5　近畿農政局における輸出の取組
（１）GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）【登録状況・輸出診断】

○　農林水産省は、平成30年８月31日に、農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする農林漁業者・食品事業者等のサポートや交流機会の創出等を図るGFPコミュニティサイトを立ち上げ。

○　近畿農政局はジェトロ等支援機関と連携して、平成30年11月からGFP登録者のうち希望者に対する訪問輸出診断を開始。令和5年１月末時点での近畿管内のGFP登録者は1,004件、輸出診断は73回実施。

○　令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、引き続きオンライン形式で訪問診断を実施。

近畿管内のGFP登録数（令和5年1月末時点）

	農林水産・食品事業者	流通事業者、物流業者等	計
全国	4,019	3,220	7,239
近畿	544	460	1,004
滋賀県	38	20	58
京都府	127	87	214
大阪府	133	218	351
兵庫県	142	90	232
奈良県	50	21	71
和歌山県	54	24	78

過去の訪問診断の実績

○　令和元年度　　２３件
（滋賀県２件、京都府３件、大阪府５件、兵庫県６件、奈良県１件、和歌山県６件）

○　令和２年度　　８件
（滋賀県１件、京都府３件、大阪府３件、奈良県１件）
（全てオンライン形式で訪問診断を実施）

○令和3年度　　１５件
（滋賀県１件、京都府２件、大阪府４件、兵庫県５件、奈良県２件、和歌山県１件）
（全てオンライン形式で訪問診断を実施）

○令和4年度　　１１件
（滋賀県１件、京都府６件、大阪府２件、兵庫県１件、和歌山県１件）
（全てオンライン形式で訪問診断を実施）

（２）近畿管内の輸出事業計画の認定状況

○　農林水産物･食品の輸出拡大のため、これらの生産、製造、加工又は流通の合理化、高度化その他の改善を図る事業に関する計画（輸出事業計画）について、農林水産大臣の認定を受けることができる。
○　令和5年１月31日時点で、全国で360件の認定輸出事業計画を公表。うち近畿管内は31件。

品目	府県	事業主体
牛肉	滋賀県	近江牛輸出コンソーシアム
牛肉	京都府	京都市中央食肉市場コンソーシアム
牛肉	大阪府	大阪市（大阪市中央卸売市場南港市場）
牛肉	兵庫県	和牛マスター輸出拡大コンソーシアム
もも	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会
かんきつ	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会
柿	奈良県	奈良県農業協同組合
柿	和歌山県	紀北川上農業協同組合
京野菜・梨	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 京野菜流通部会
いちご	滋賀県	株式会社風車
切り花	奈良県	奈良県枝物輸出促進協議会
茶	滋賀県	一般社団法人滋賀県茶業会議所
茶	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会
有機茶・抹茶	京都府	株式会社播磨園製茶
コメ	滋賀県	全国農業協同組合連合会滋賀県本部
コメ	滋賀県	滋賀蒲生町農業協同組合
養殖クロマグロ等	和歌山県	有限会社M&Eソリューション

品目	府県	実施主体
冷凍殻付きかき	兵庫県	株式会社播磨灘
醤油	大阪府	大醤株式会社
醤油	兵庫県	足立醸造株式会社
醤油・醤油加工品	兵庫県	日本丸天醤油株式会社
菓子	京都府	株式会社和晃
菓子	京都府	株式会社上尾製菓
レトルト食品	京都府	グリルにんじん株式会社
乾麺	兵庫県	播州乾麺輸出拡大協議会
乾麺	兵庫県	東亜食品工業株式会社
有機梅加工品	和歌山県	有限会社深見梅店
ウイスキー	兵庫県	株式会社西山酒造場
ワイン	大阪府	大阪府/ （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
日本酒	京都府	「京の米で京の酒を」推進会議 ～京都酒米振興プロジェクト～
濃縮飲料ポーションパック	奈良県	株式会社やまと蜂蜜

上記の輸出事業計画の詳細は、農林水産省HPにて公表されています。
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/yusyutsu_keikaku_kohyo.html